



森ボラ通信

第32号 2005年 1月20日発行
北海道森林ボランティア協会
札幌市中央区南2条西2丁目 金市館ビル8F
Tel 241-8155 Fax241-8308
E-mail:h-shinrin-v@indigo.plala.or.jp

あけまして おめでとう ございます。

2月 セミナーのお報せ

2月9日(水) 10時 リンケージプラザ 第三研修室
講師 酒井さん「北海道におけるバイオマスプラント」

有明第二 小鳥の巣箱かけのご案内

2月25日(金) 定刻待合せで有明第二の巣箱かけをやります。当日は有明小学校の全校スキー遠足の日でもあります。有明第二の森を貫通しまして、東南方向さらに奥に目的地が設定されています。本隊の邪魔にならないように巣箱作業かたがた遠巻きに見守る程度のサポートをいたしましょう。巣箱かけを合同で行うことも検討しましたが、別の機会を設ける(秋の行事として検討する)ことにしました。

1月のセミナー

1月17日(月) 参加31名.棟方さんの講演と「えりも岬緑化」のビデオ鑑賞でした。演題の人工林については実際にかかわってきた立場からの解説でありますので、裏話やエピソードなども紹介されました。えりも岬の緑化技術は、沙漠緑化にたずさわることにもなれば、よい参考になるでしょう。えりもの間伐支援は前向きに検討したい課題でありました。交通費と宿泊費をクリアする方向をさぐりましょう。

1月 木工の日

1月14日(金) 参加18名。新年はじめの木工の日にあたり、安全祈願のお神酒をいただき、作業を始めました。小鳥の巣箱用の板を100枚用意しましたので、早速制作にかかりました。18個を完成、16個の下づくりをしました。初めはもたもたしてまいりましたが、徐々に調子が上がってきましたので、次回には相当進行すると思われます。昼食には杉本さんからエゾシカの肉の網焼きと豪勢なご馳走を提供されまして一同舌鼓を打ち鳴らした次第でありました。次回は1月28日(金)です。自宅のまわりにも自作の巣箱を持ち帰りましてかけてください。

有明小学校との打合せ（第二回目）

1月13日（木） 酒井さん、山岸さんと鏑野で有明小学校と打合せをしてきました。当面の提携について意志を統一することが目的です。

2月25日（木） 全校生徒スキー遠足に参加の仕方については、学校の目的を第一として当会としては父兄のような立場で一緒に歩くことになりました。吹雪決行ですから、前日の天気状況によっては一部コースのラッセルを手伝う場合もありえます。

3月末までの当年度の交流については3学期は卒業式のための音楽練習が主力で、その他の行事は出来にくい状況にあります。例えば小鳥の巣箱づくりや設置をする時間がとれないようです。4月からは新学期のため初旬から中旬は新しい行事を設定しにくく、やれる可能性を探るとすれば、下旬になります。キノコの植菌作業は採材を4月上旬までに終え、5月に設定します。

1月 定例幹事会

1月11日（火） 1月定例幹事会を行いました。

■ 1) 2月、3月の活動について

(1) 有明小学校との連携

(a) スキー遠足支援 2月27日に行われるスキー遠足は有明第二の森から入り、さらに南の方向に歩くようです。当協会として支援参加を募集します。

(b) 小鳥の巣箱の製作と設置を合同で行う。巣箱100個（学童数約100人）分の材料を提供。合同で巣箱の製作を行い。堅雪の時期に有明第二の森林および学校敷地に設置します。

(c) キノコのほだ木の提供 有明小学校は学校敷地内で教材としてキノコ栽培をやっております。新年度は新たにほだ木の補給200本の入手を考えているが、入手が困難であるとの田山校長の言葉でした。有明第二の風倒木にはナラ材は少ないのですが、澄川にはかなり倒れているので、わが会が澄川から採材して運搬する。運搬は有明小学校側がトラックを出す。植菌作業も指導する意向を伝えました。

(d) 6月には有明第二で合同で植樹を行う。

(2) 道民の森づくりネットワークの集い「ポスターセッション」への参加

2月27日（日）かでの2・7で開催されます。昨年も参加しました。今年はさらに充実させて、湊さん、柴田さんを中心に制作し説明役は鏑野が担当することになりました。

■ 2) 会費の改定

前年の幹事会、前回の理事会で会費の改定を議論してきました。ここで結論にしようということで、再度議論をやりました。結論は個人会員の年会費2000円、法人会員は名称を賛助会員に改め、1口10000円といたします。加入金の改定はありません。これまで通り個人1000円、賛助5000円です。

■ 3) 賛助（法人）会員の勧誘

会費が改訂されましたので、勧誘用の葉を完成します。これらを持って会社訪問をこの期間中に行います。勧誘計画試案を作ります。

■ 4) セミナー講師と演題

1月17日 棟方さん 「日本の森林と針葉樹人工林」 えりも岬緑化のビデオ

2月9日 酒井さん 「北海道におけるバイオマスプラント」

3月 湊さん 「森の思想が人類を救う」 鏑野 「屋久島の森と水」

■ 5) 平成17年度 活動フィールドのメインテーマ

(1) 札幌市市有林

有明第二 有明小学校との共同利用→学校林へ誘導する。

澄川 風倒木の完全整理と2次除伐→キノコほだ木の採材
西野第二 風倒木整理と植樹対応地拵え

- (2) 当別ふくろうの森 境界確認と植樹→私有林整備制度に乗せる
- (3) リンゴ園 前年継続。選任チームの編成と独自の作業計画を芝さんを中心に作成
- (4) 北海道森林管理局のボランティア事業に参加
- (5) 既存学校林、社有林、民有林の育林作業受託を視野にいれる
- (6) その他
(日)撫順市緑化支援2年目の計画作成（芝、鏑野）
(月)森と緑の会からの調査業務受託をすすめる
(火)えりも岬間伐作業は条件（交通、宿泊）整えば支援する

以上 参加幹事 : 加治、鎌田、酒井、芝、三浦、湊、鏑野

有明第二の学童利用で札幌市と調整

1月6日（木）酒井さん、山岸さん、鏑野の3人で札幌市役所の高本さんに年始の挨拶と有明第二の有明小学校学童利用について、前号にてお報せしました田山校長先生の意向を伝えました。高本さんは「主旨はたいへん結構である。初めてのケースなので、慎重になるが、市としても学校林について勉強する。前向きにとりくみたい」との発言であった。山岸さんを調整役として当協会としても前向きに取り組みます。当面は学校林として正式な認定手続と併行して、有明小学校との連携は進めてゆきます。

北海道森林管理局訪問

12月27日（月）酒井さん、芝さん、高野の3名で北海道森林管理局の石狩地域森林環境保全ふれあいセンターを訪問しました。野幌森林公園の台風被害からの復興についてボランティア参加が検討されていることで、事情を聞いてきました。当協会の意図する方向と、森林管理局がボランティアにもとめている方向にかなりずれがあることが分かりました。今議論されているボランティアに期待する仕事は子供もできる仕事、わかり易くいえば植樹とか、以後数年の下刈り程度を考えているようでした。当協会の実力は直轄事業を請負うことも可能なレベルであります。ボランティア事業に参加する切り口から直轄事業への参加を探ることを意図していきたいと考えます。